

フィッシャー レジンアンカー FEB R M

フィッシャー ユーロボンド
 接着系カプセル型 (回転・打撃式)



FEB R M

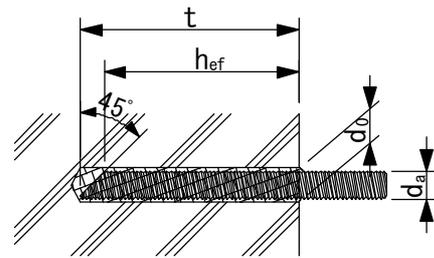
特長

- ビニルエステル樹脂
- ガラスカプセル
- スチレンフリー (スチレン臭が無い)
- VOC 14 化学物質 (ホルムアルデヒド等) は製造には未使用
- 有効期限は製造日より3年 (36ヶ月)
 ※ 直射日光を避け、冷暗場所 (+5~+25°C) に保管して下さい。
- アンカー打設後の浸透性は無い試験結果 (R M 12 + 全ねじボルト M12 で実施)
- 欧州技術認証 ETA



カプセルタイプ

FEB タイプ	品番	カプセル		
		外径 [mm]	長さ [mm]	容量 [ml]
R M 8 *	050270	8	85	3.8
R M 10	050271	10.5	90	5.8
R M 12	050272	12.5	97	9.9
R M 16E	512708	16.5	123	22.0
R M 20	050274	23	160	52.0
R M 24	050275	23	190	64.0
R M 27	079843	27.5	210	104.0



※ 埋込み先端を片側 45°カットの場合
 ※ d_a : 接着系アンカーボルトの径

※ *印の R M 8 は非在庫品。納期等は事前にご確認する必要があります。

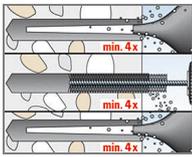
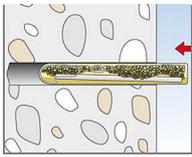
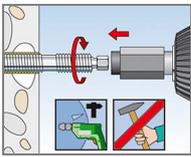
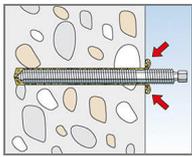
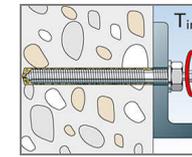
施工仕様

FEB タイプ	適用アンカーボルト 全ねじボルト/ 異形棒鋼	ドリル径 d_0 [mm]	穿孔深さ t [mm]	有効埋込み深さ h_{ef} [mm]
R M 8 *	M8 ($T_{inst} =$ 最大 10 N·m)	10	80 (10.0 d_a)	72 (9.0 d_a)
R M 10	M10 ($T_{inst} =$ 最大 20 N·m)	12	90 (9.0 d_a)	80 (8.0 d_a)
	D10	13	85 (8.5 d_a)	75 (7.5 d_a)
R M 12	M12 ($T_{inst} =$ 最大 40 N·m)	14	110 (9.1 d_a)	98 (8.1 d_a)
	D13	16	100 (7.6 d_a)	87 (6.6 d_a)
R M 16E	M16 ($T_{inst} =$ 最大 60 N·m)	18	130 (8.1 d_a)	114 (7.1 d_a)
	D16	20	130 (8.1 d_a)	114 (7.1 d_a)
R M 20	M20 ($T_{inst} =$ 最大 120 N·m)	25	170 (8.5 d_a)	150 (7.5 d_a)
	D19	25	200 (10.5 d_a)	181 (9.5 d_a)
R M 24	M22 ($T_{inst} =$ 最大 120 N·m)	28	190 (8.6 d_a)	168 (7.6 d_a)
	D22	28	220 (10.0 d_a)	198 (9.0 d_a)
R M 27	M24 ($T_{inst} =$ 最大 150 N·m)	32	210 (8.7 d_a)	186 (7.7 d_a)
	D25	32	250 (10.0 d_a)	225 (9.0 d_a)

※  のマークが付いている仕様は JCAA 製品認証取得の製品です。

※ T_{inst} は 最大締付けトルク。

施工方法

 <p>① 規定の穿孔後、孔内を清掃。</p>	 <p>② 規定のガラスカプセルを挿入。</p>	 <p>③ 回転・打撃でアンカーを打設。</p>	 <p>④ 規定の埋込み深さまで打設。 (過剰に攪拌をしない)</p>	 <p>⑤ 硬化時間が過ぎてから取付物を取付ける。</p>
--	---	---	---	--

硬化時間

コンクリート母材温度 と 硬化時間		※ コンクリートが乾燥状態での硬化時間。 ※ 湿孔の場合は孔内から水・のろ等を十分に除去して、2 倍の硬化時間をとる。(荷重は低減します)
コンクリート母材温度	硬化時間	
+20 °C以上	10 分	
+10 ~ +20 °C	20 分	
±0 ~ +10 °C	45 分	
-5 ~ ±0 °C	240 分	

荷重

FEB タイプ	全ねじボルト／ 異形棒鋼	最大引張荷重 [kN (tf)]	最大せん断荷重 [kN (tf)]
R M 8 *	M8	19.0 (1.93)	9.2 (0.93)
R M 10	M10	30.0 (3.06)	14.5 (1.47)
	D10	29.8 (3.05)	26.3 (2.69)
R M 12	M12	64.5 (6.59)	42.7 (4.36)
	D13	50.4 (5.15)	49.3 (5.04)
R M 16E	M16	92.6 (9.45)	81.2 (8.29)
	D16	96.9 (9.89)	86.0 (8.78)
R M 20	M20	140.8 (14.37)	125.0 (12.76)
	D19	133.5 (13.63)	120.8 (12.33)
R M 24	M22	160.3 (16.36)	157.3 (16.06)
	D22	193.3 (19.73)	160.6 (16.39)
R M 27	M24	183.9 (18.77)	180.6 (18.43)
	D25	207.7 (21.20)	206.1 (21.04)

- 備考)
- 全ねじボルトは、旧 神奈川高度技術支援財団 平成 10 年 3 月 31 日付けの報告書による。普通コンクリート圧縮強度 $\sigma_B = 33.4 \text{ N/mm}^2$
ボルト降伏点 $\sigma_y = 888.2 \text{ N/mm}^2$
 - M20 & D19 の荷重は FEB R M 20J による。
 - 異形棒鋼は、旧 神奈川県産業技術総合研究所 平成 11 年 1 月 27 日付けの報告書による。普通コンクリート圧縮強度 $\sigma_B = 35.0 \text{ N/mm}^2$
異形棒鋼の降伏点 $\sigma_y = \text{最小 } 354.3 \text{ N/mm}^2$
 - 最大引張荷重は試験 5 体の平均値。
 - 最大せん断荷重は試験 3 体の平均値。
 - 各最大荷重に安全係数を考慮して下さい。
 - R M 8 (M8) と R M 10 (M10) の荷重は社内試験。普通コンクリート $F_c 20 \text{ N/mm}^2$
 - 施工要領書、SDS 等もご確認下さい。